

令和3年度 北陵地区の小中一貫教育 グランドデザイン

(高島小学校・手宮中央小学校・北陵中学校)

夢や目標の実現を目指し、たくましく生きる北小樽の児童生徒の育成

小樽市の小中一貫教育（推進地区）5つの視点

1 小中一貫教育の目標を設定 2 教育課程・指導方法の工夫改善 3 小中学校間で交流する機会の設定 4 教職員間の連携・協働 5 家庭・地域との連携・協力

児童生徒の実態

(高島小学校)

行事等では、高学年が学校全体をリードし、活躍している。また、体を動かすことを好む児童が多く、休み時間等、仲良く遊んでいる。一方で、学びには意欲的ではあるが、習得、定着の面で課題がある。家庭学習の充実が必要な児童も多い。

(手宮中央小学校)

学習意欲は高く、進んで授業に臨み、友達と積極的に交流し、自分の考えを進んで発表する姿が見られる。一方で、基礎・基本的な学力が身につけていない児童も多く学力の二極化が見られる。

(北陵中学校)

学習に対しての意欲は高く、授業なども積極的に参加しているが、学力の二極化が著しい。体を動かすことやボランティア活動については積極的である。

9年間で目指す子ども像

- 自分で考え、判断し、学ぶことができる子ども
- 自他ともに大切にできる子ども
- すすんで挨拶し、善悪の判断をし、正しく行動ができる子ども
- 自ら目標に向かって、たくましくやりぬく子ども



保護者・地域の実態

(高島小学校)

地域のつながりも大切にし、子ども達が伸び伸びと育つよう学校に対して協力的である。学校と協力し、家庭学習の習慣化やゲーム時間の短縮等の生活習慣の一層の改善を進めている。

(手宮中央小学校)

学校・地域ともに協力的であり、ボランティア活動にも多くの方々に関与していただいている。また、参観日や地域公開日等にも多くの参観があり、学校や教育への関心も高い。

(北陵中学校)

学校に対して関心が高く、町内会やPTAも協力的である。一方、校区が広く、家庭相互のつながりを図りづらい面がある。

令和3年度の3校の学校経営の重点（共通）

「未来につながる力を育てる」～小中一貫教育の推進～

小中一貫教育推進委員会（中1ギャップ問題検討委員会）

各校長、各教頭、主幹教諭、教務主任、各分掌部長、学園制加配教員、中1ギャップ問題加配教員等
学園制加配活用事業・中1ギャップ問題未然防止事業・小中合同研修会

教育課程部会

3校の教務主任3名+担当教頭1名

【主な活動内容】

- ① 学園制合同授業の計画、実施
 - ・ 日程調整、授業内容の充実化
 - ・ 新入生体験入学との連携
- ② 9年間の教育課程の編成
 - ・ R2～3で作成、R4から実施
 - ・ 理科・英語で先行実施
- ③ 小5・6年の教科担任制の充実
- ④ 33SKILL・28SKILLの定量的な分析
- ⑤ 年間行事予定の調整
 - ・ 総合的な学習の時間
 - ・ 旅行的行事の内容
- ⑥ キャリアパスポート、ICTの活用

学力向上部会

3校の研究主任3名+担当教頭1名

【主な活動内容】

- ① 算数・数学科での連携
 - ・ 授業づくりやICTに関する研究
 - ・ ノート指導の共通化
 - ・ 算数数学の9年間の教育課程 (CAN-DOリスト)
- ② 全国学力・学習状況調査の分析
- ③ 保護者啓発の共通指導
 - ・ 家庭学習強化期間の実施
 - ・ メディアの使用時間など
- ④ 公開研究会の相互参加
- ⑤ 児童生徒アンケートの共通項目
- ⑥ 作品・図書紹介の巡回展示

生徒指導部会

3校の生徒指導3名+担当教頭1名

【主な活動内容】

- ① 生徒指導の状況交流
 - ・ 学級、学年経営、家庭環境の交流
 - ・ 長期休業中のきまり
- ② 不登校児童生徒への支援の状況
 - ・ 欠席状況報告書の個人ファイル化
 - ・ ICTを活用した支援など
- ③ いじめ未然防止の取組
- ④ 自殺予防防止プログラム
- ⑤ ほっと、ほっとプラスの実施・分析
- ⑥ 児童会・生徒会の交流
 - ・ 潮ねりこみ、いじめ防止サミット
 - ・ スポーツ GOMI 拾いなど